

植 防 い し か わ

令和 5（2023）年 8 月 31 日 発行

編集・発行

公益社団法人 石川県植物防疫協会

 金沢市田中町か 26 - 1
 石川県農業共済会館内
 T E L 076-239-1511

印 刷 株式会社 共 栄

No. 163

はじめに

会員の皆様をはじめ、関係機関の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

協会設立 50 周年記念事業を無事の終え、ここか

ら新たな 50 年に向けたスタートの年を迎えることができ、大変うれしく思っております。会員の皆様方におかれましては、これまでと変わらぬご支援をお願いいたします。

公益社団法人石川県植物防疫協会第40回通常総会の概要

令和 5 年 6 月 21 日午後 2 時より、石川県地場産業振興センターにおいて、公益社団法人石川県植物防疫協会の第 40 回通常総会を開催しました。今年は 4 年ぶりに会員の皆様、関係機関の皆様の参加を得て実施しました。司会者の桐山隆事務局技術主幹より、本総会の出席状況について、正会員 6 団体が出席し、石川県野菜園芸協会から議決権行使の書面の提出があり、正会員 7 団体すべてが出席となり、定款第 25 条の議決要件が満たされていることが報告されました。続いて、定款第 23 条の規定に基づいて田中肇会長理事が議長に就き、中村哲郎氏（石川県農薬卸商業協同組合理事長）と南範彰氏（石川県農業共済組合専務理事）を議事録署名人に選任し、当協会の葛城晴子

主事を書記に任命しました。

議案は次の第 1 号から第 4 号までが上程され、いずれも武田理事の提案説明の後慎重審議され、全ての議案が原案のとおり満場一致で承認、可決されました。

第 1 号議案

令和 4 年度事業報告承認の件

第 2 号議案

令和 4 年度収支決算承認の件

第 3 号議案

令和 5 年度年度会費徴収額及び徴収方法に関する件

第 4 号議案

理事及び監事の報酬額に関する件

目次

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | はじめに..... | 1 |
| 2 | 第 40 回通常総会の概要..... | 1 |
| 3 | 第 49 回植物防疫指導者研修会の概要..... | 4 |
| 4 | 第 34 回虫供養の式典..... | 6 |



第 1 号議案 令和 4 年度事業報告承認の件

1 病害虫等防除推進事業

〈事業の内容〉

農作物や花木類に発生する病害虫や雑草の防除法に関する指導・助言、関連情報の提供、植物防疫研修会の開催、農薬適正使用の啓発等を通じ、安全で安心な県産農産物の安定生産に寄与する事業である。

(1) 防除相談・指導業務

- ・現場指導者から持ち込まれる病害虫等の診断・同定と防除指導、野菜の栽培法についての相談 20 件
- ・県が編集する「農作物病害虫・雑草防除指針」を増刷（380 部）し、会員、現場指導に携わる農業団体等に提供

(2) 農薬危害防止啓発業務

- ・農薬危害防止キャンペーン（6 月 1 日～8 月 31 日）にあわせ、チラシ 5,500 枚を作成・配布
- ・農薬工業会が発行する「農薬中毒の症状と治療法」を 100 部購入し、県の保健福祉センターを通じて医療機関に提供

(3) 研修会開催業務

- ・「協会設立 50 周年記念事業」の一環として、令和 5 年 3 月 22 日に開催した記念式典の基調講演と兼ねて開催

「近年開発された害虫防除技術について」

石川県農林総合研究センター

所長 藪 哲男氏

「農薬登録から見た農薬開発の現状と

今後の動向について」

農林水産消費安全技術センター

農薬検査部長 入江真理氏

- ・参加者は、市町・JA・NOSAI の植物防疫担当者のほか、農業試験場の研究員、農薬卸・販売業者、農薬メーカーのプロパー等 62 名

(4) 広報業務

- ・会報「植防いしかわ」を年 2 回発刊

当協会の行事や事業の進捗状況、除草剤・殺菌・殺虫剤の実験展示圃成績等を掲載し、会員、市町、農業団体等に紹介

- ・県が発表する病害虫発生予察情報（年 8 回）を毎回増刷し、JA、NOSAI 等の現場指導者、農薬卸業者等に伝達するとともに、当協会のホームページにも掲載して農家や一般県民に周知

(5) 無人ヘリコプター防除推進業務

- ・水稻、大麦、大豆等の病害虫に対する無人ヘリコプターによる防除について、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会との連携のもと、オペレーター、ナビゲーターに対する安全講習会をリモート（Zoom）を併用して令和 5 年 3 月 3 日に開催、参加者 42 名

「無人航空機防除における安全運航」

ヤマハ発動機株式会社ソリューション事業本部

USM事業推進部 服部 寛氏

「航空法改正に伴う無人ヘリ防除対策」

石川県農業政策課消費安全グループリーダー

小谷俊之氏



2 農薬試験事業

〈事業の内容〉

農薬による病虫害及び雑草の防除を安全かつ効率的に実施することを通じて県産農産物の安定生産・安定供給を図る目的のもと、防除効果の高い開発未登録農薬の農薬登録に向けた圃場試験を実施した。

また、新規に登録された農薬の農家への普及に先立ち、県内各地で試験的に使用して現地適応性を検証する試験を実施した。

（１）開発未登録農薬の実用性試験

農産物の安定生産・安定供給には、病虫害や雑草の防除を安全かつ効率的に実施することが重要であり、そのためには防除効果がより高く、毒性がより低い新農薬を迅速に農家に普及する取り組みが必要となる。

新農薬の登録審査に必要な薬効・薬害・作物残留に関する一連の試験を「開発未登録農薬の実用性試験」として、石川県農林総合研究センターとの連携のもと、令和４年度は 94 剤（前年 95 剤）

の試験を受託し、当協会では 49 剤（前年 65 剤）を試験し、残り 45 剤（前年 30 剤）は石川県農林総合研究センターで試験した。



〈議案審議の様子〉

（２）新規登録農薬の現地適応性試験

新規に登録された農薬について、農家普及に先立ち県内各地で試験的に使用し、効果の安全性、薬害発生の有無等を確認する試験を実施した。令和４年度は 55 剤で「普及性あり」の判定結果が得られた。

第 2 号議案 令和 4 年度収支決算承認の件

決算書類として貸借対照表、正味財産増減計算書の概要表を以下のとおり掲載します。

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

勘定科目	当 年 度	前 年 度	増 減
流動資産合計	2,664,742	2,531,681	133,061
固定資産合計	13,658,000	14,275,000	△ 617,000
資産合計	16,322,742	16,806,681	△ 483,939
流動負債合計	1,132,280	1,576,820	△ 444,540
固定負債合計	5,558,000	4,975,000	583,000
負債合計	6,690,280	6,551,820	138,460
正味財産合計	9,632,462	10,254,861	△ 622,399

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	当 年 度	前 年 度	増 減
受取会費計	2,430,000	2,430,000	0
事業収益計	34,699,544	35,222,682	△523,138
受取補助金等計	1,493,820	1,449,616	44,204
雑収益計	1,092,935	633,464	459,471
雑収益計	39,716,299	39,735,762	△19,463
事業費計	36,815,851	36,085,024	730,827
管理費計	3,522,847	2,172,772	1,350,075
経常費用計	40,338,698	38,257,796	2,080,902
当期経常増減額	△622,399	1,477,966	△2,100,365
一般正味財産期首残高	10,254,861	8,776,895	1,477,966
一般正味財産期末残高	9,632,462	10,254,861	△622,399

第3号議案 令和5年度会費徴収額及び徴収方法に関する件

正会員7団体計28口、84万円、賛助会員33会員、1口（3万円）以上とし、令和5年8月31日までに振り込む。

第4号議案 理事及び監事の報酬額に関する件

理事報酬は年額80万円以内、監事報酬は年額8万円以内とする。

第49回植物防疫指導者研修会の概要

去る7月11日（火）に第49回植物防疫指導者研修会を石川県地場産業振興センター第10研修室において開催しました。農研機構植物防疫研究部門の外山晶敏氏を講師にお招きし、「天敵を活用した果樹の持続的ハダニ防除体系」についてご講演いただきましたので、その概要を紹介いたします（当日使ったパワーポイントの画像は、著作権の関係で掲載しておりませんことをご了承ください）。

- ①ハダニは増殖が速く、殺ダニ剤に対して薬剤抵抗性が発達しやすい。このため殺ダニ剤が効かなくなるので、防除効果を補完する農薬の追加散布が常態化している。



〈講演中の外山晶敏氏〉

新規薬剤の開発が期待されるが、殺ダニ剤開発は停滞傾向である。

②病虫害防除の世界的潮流は「減化学農薬」である。

→ EU…2030年までに化学農薬の使用及びリスクの50%削減

米国…2050年までに環境フットプリント50%削減

日本…2050年までに化学農薬使用量の50%低減(みどりの食料システム戦略)

③ハダニの有力な天敵であるカブリダニに着目し、果樹園に自然に生息する土着のカブリダニとカブリダニ製剤(生物農薬)を使った「<w天>防除体系」を確立し、「果樹のハダニ類防除体系標準手引書(SOP)」を公開した。

④カブリダニ類は、種類によって天敵としての特性が異なる。

・コウズケカブリダニ、ミチノクカブリダニ:「ジェネラリスト」

花粉等を餌にできる、ハダニに依存しない定着性がある その一方でハダニ捕食量は多くない、鎮圧能力はない

→ ハダニの定着・密度上昇を防ぐ

・ミヤコカブリダニ、ケナガカブリダニ:「ハダニスペシャリスト」

ハダニを好み、捕食量が多い、ハダニ探索能力に優れる その一方で、定着性が低い、後追いの発生

→ 増えたハダニの密度低下に貢献する

⑤カブリダニ製剤の商品は既にいくつか出ている。

・ミヤコカブリダニ製剤

適用害虫: ナミハダニ、カンザワハダニ

製品: スパイカルプラス、ミヤコバンカー

・スワルスキーカブリダニ製剤

適用害虫: ミカンハダニ、アザミウマ類、ホコリダニ類、コナジラミ類

製品: スワルスキープラス、スワルバンカー

<w天>防除体系の4つのステップ

⑥ STEP1 天敵に配慮した病虫害防除

・天敵の働きを十分に発揮させるには、カブリダニ類に影響の少ない薬剤を中心に病虫害防除体系を構築

→ カブリダニ類は微小で、翅が無いので、移動能力が低く、農薬散布の影響を大きく受ける。

・悪影響が大きく残効が長い薬剤(非選択性殺虫剤など)を散布すると、土着カブリダニが死滅し、ハダニの多発を招く。

・防除体系のポイントは、

✓合成ピレスロイド、有機リン剤の使用は避ける。

✓IGR剤、ジアミド剤、BT剤を主体に害虫防除体系を組み立てる。

✓ネオニコチノイド剤: ジノテフラン、チアクロプリドは影響が小さい傾向

✓殺菌剤では、プロピネブ剤やチオファネートメチル剤などはカブリダニ類に影響が大きい。

✓シンクイムシ類、ハマキムシ類

→ IGR剤、ジアミド剤、ネオニコチノイド剤、交信かく乱剤

✓ニセナシサビダニ

→ マシン油、スピロテトラマト、クロルフェナピル、トルフェンピラド

✓カイガラムシ類

→ マシン油、スルホキサフロル、アセタミプリド

✓アブラムシ類

→ スピロテトラマト、フロニカミド、ネオニコチノイド剤

✓カメムシ類(臨時防除)

→ ネオニコチノイド剤

⑦ STEP2 天敵にやさしい下草管理

・果樹園の下草はカブリダニ類にとって、農薬散布時の避難場所や越冬場所の役割もあり、また花粉などのエサもあるなど大切な生活の場となっている。



〈研修会受講の様子〉

- ・乗用草刈機の刈り高を 80 mm 程度に設定することで、カブリダニ類の生息数が多く確保できる。

⑧ STEP3 天敵製剤の補完的利用

ミヤコカブリダニ製剤の特徴と使い方

- ・カブリダニ放出までに、設置から2週間ほどを要する。
- ・放出ピーク期間は2週間程度
- ・カブリダニの分散は上へ向かう。
- ・分散の偏り（分布の偏り）は否めない。
- ・ハダニがいないと姿を消す（効果は減衰する）。

⑨ STEP4 殺ダニ剤の協働的利用

- ・ハダニの先行的な増殖を抑制するために、天敵放飼前に散布する。

- ・天敵の働きを補う目的で、ハダニの急増が予想される時期にスケジュール散布する。また、ハダニの発生状況に応じて臨機的に散布する。
- ・天敵類の発生が見られない場合、ハダニの増殖が早く天敵で抑制ができない時に、ハダニの一掃を図り、効果優先で散布する。

この後、ナシ園、リンゴ園でのモデル体系の紹介がありました。

参加者は、総勢で 69 名でした。

虫 供 養 の 式 典

去る 6 月 5 日に、県農林総合研究センター農業試験場構内の虫塚にて、17 時 30 分より虫供養の式典を執り行いました。

今年で 34 回目となりましたが、この 3 年間、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を限定して実施しておりましたが、今年からはコロナ前の時と同様、関係の皆様に参加を願いましたところ、石川県庁から 2 名、県農林総合研究センター農業試験場から 15 名のご参列となりました。



〈虫塚〉



〈本教寺ご住職による虫供養〉

編 集 後 記

今年の夏はこれまでにない酷暑となっております。これまでにアメダス小松の日最高気温が 2 回も全国 1 となりました。そのうち 1 回は 40℃ という途方もない気温でした。降水量も大変少ない状況です。

このような気象条件は稲の登熟にとって過酷です。収量や品質はどうなるのでしょうか、心配されるところです。

会員の皆様も熱中症に気を付けてお過ごしください。